



社会福祉法人共生会

2019年度 年次報告書



■児童養護施設「希望の家」

新たな挑戦の年

ホームページが生まれ変わり、SNSの発信もスタートし、クラウドファンディングへの初挑戦、養育の面では養育ハンドブックの作成、事業計画書等の項目の見直し、半休制度の開始等、多くの取り組みをした1年でした！

■児童養護施設「松風荘」

こどもたちに癒され、施設の未来が見えた年

2019年度は、幼児3名、小1・2年生2名、中学生1名の入所がありました。幼い子どもが多かったため、1年中、こどもの笑い声、泣き声が各拠点で聞かれました。また、グループホーム推進のための土地取得ができ、長期にわたる松風荘の未来像が見えてきました！

■児童養護施設「伊豆長岡学園」

「あたらしいおうちが完成して、うれしい！」

3年越しの新施設建て替え工事が竣工となり、子どもたちは新しい園舎に入って飛び跳ねて喜んでいました。

■母子生活支援施設「ふたばホーム」

challenge your dream！！夢に挑戦！！

保護者の皆様から希望のあった子育て応援講座や、関係機関の皆様をお招きしての映画上映会を初めて企画しました。
私たちは、皆様の夢を応援します！！

■母子生活支援施設「江戸川区そよ風松島荘」

はばたきの年

就職や転職、保育園・小学校の卒業、母親の専門学校の卒業等、利用者の皆さんそれぞれが、次の段階へ進むための準備を行い、はばたく一年間となりました。

■母子生活支援施設「中野区さつき寮」

試行錯誤と臨機応変の年

なにが正解かわからず悩みながらの毎日の中、多様性が求められ葛藤もありながら、利用者さん、職員、施設全体が成長していています。また、コロナ禍、日夜変動する状況の中、的確な情報を得て、どのように対応していくのが正解か模索しました。

■認可保育園（夜間保育所）「白鳥ふたば保育園」

信頼の輪が広がってきた年

定員36名の小集団だからこそ、子ども一人ひとりの丁寧な関わりの中で、自分らしく夜遅くまでいても安心して過ごすことができている。開園して8年になりますが、保護者や地域の方に信頼され頼りにされる保育園として根付いてきました。

■特別養護老人ホーム「東四つ木ほほえみの里」

変化する多様なニーズに対して、的確な対応に努めた一年

ご利用者・ご家族のニーズ、築20年以上経過した施設・設備の修繕・更新のニーズ、ご入所者の命と職員の生活を守るニーズなど、時の流れとともに変化する多様なニーズに的確に対応しようとした1年でした。

■学童保育クラブ 千代田区・葛飾区

「再認識」

安定した運営を行っていた1年でしたが、2月以降からコロナ禍のさなかでこれまで経験したことがない状況下となり、心身ともに不安を抱える中で運営を継続しました。
一方、社会機能を維持する事業所であることの認識、使命感を改めて実感する1年となりました。

困っている人々と共に生きる



社会福祉法人共生会
理事長 福島 俊彦

共生会の創設者である故福島政一夫妻の理念を大切に、私たちは日々の活動に取り組んでいます。現在、児童養護施設、母子生活支援施設、特別養護老人ホーム、保育園、学童保育クラブと多様な取り組みを行っていますが、私たちの源流は常にこの言葉です。

社会環境の大きな変化に伴い、利用者の方々の社会的背景や直面する問題も複雑で、多様です。これらの社会課題の解決のため、たくさんの支援者の皆様、地域の皆様に支えられながら、私たちは皆様と一緒に歩みを進めて参ります。

児童養護施設

母子生活支援施設

認可保育所
(夜間保育)

学童保育クラブ

希望の家

ふたばホーム

白鳥ふたば
保育園

《千代田区・アフタースクール》
さくら／さくら第二
こうじ町
番町／番町第二

松風荘

江戸川区
そよ風松島荘

特別養護
老人ホーム

《葛飾区・学童クラブ》
松上／第二松上
上小松／第二上小松
木根川

伊豆長岡学園

中野区
さつき寮

東四つ木
ほほえみの里



児童養護施設とは

児童福祉法に基づいて、乳児を除く保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童をお預かりして養護し、あわせて退所した子どもたちに対する相談、その他の自立のための援助を行うことを目的とする施設です。



松風荘

静岡県沼津市 定員：30名
 <本園・グループホーム3か所>

松風荘では、4か所の住まいに定員30名の子どもたちが暮らしています。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」を大切に、子ども・大人を問わず一人ひとりを大切にし、互いに育ちあうことを大切にしています。

■2019年度 TOPICS

富士山集中登山を行いました。
 子ども・職員ともに、2度とできない0合目から頂上まで行くことができ、この「成し遂げた」経験は、子どもたちにとって大きな経験となりました。

卒園後の自立した生活を目指す高齢児合宿で、ボクシング元東洋太平洋ライト級チャンピオン（世界ランク1位）であり「魂のボクサー」坂本博之氏より「一瞬懸命」というメッセージを頂きました。



希望の家

東京都・葛飾区 定員：43名
 <本園（男子・女子）・地域小規模児童養護施設3か所・小規模グループケア地域型2か所>

希望の家では、7か所の住まいに定員43名の子どもたちが暮らしています。さまざまな事情のもと、親元から離れて暮らしている子どもたちですが、それぞれ1人の人間として成長・発達し、社会人として自立した生活を送ることができるようになること。これが私たちが大切にしていることです。

■2019年度 TOPICS

希望の家で暮らす子どもが自分で応募して手に入れました。才能あふれる子どもの芸術作品！佳作特別賞を頂きました。

児童養護施設を巣立った子どもたちが、より自立した生活を送れるよう、クラウドファンディングで卒園応援金の寄付を集めました。

ウェブサイトの改定に伴い、新しく導入した「欲しいものリスト」より子どもの希望する紫色のランドセルを頂きました。



伊豆長岡学園

静岡県伊豆の国市 定員：51名
 <本園・グループホーム1か所・地域小規模児童養護施設（グループホーム）1か所>

伊豆長岡学園では、3か所の住まいに定員51名の子どもたちが暮らしています。子ども自身が「大切にされている」と実感を持てる支援をすることを大切にしています。そのためには職員自身も大切にされていると実感を持てる職場風土づくりを行い、職員育成に力を入れています。

■2019年度 TOPICS

地域貢献活動を頑張りました！

1. 地域で火事があり近くを通りかかった中学生2人が地元の人たちと初期消火を手伝い、とても地域の人たちから感謝されました。
2. 感謝祭(バザー)が根付き、新しい学園グラウンドで最も多いお客さんをお越しいただきました。



小学生がドッチボールが上手になり、夏の江戸っ子杯の大会で過去4年の中で3回目の優勝杯を勝ち取ることができました。



ご支援者の協力で、子どもたちのための自立支援基金制度を創設していただきました！



母子生活支援施設とは

児童福祉法に基づいて、18歳未満の子どもを養育している母子家庭や母子家庭に準じる家庭の女性が、子どもと一緒に利用できる施設です。子育て支援を進めながら、母子の生活と自立を支援します。



ふたばホーム
ふたば学童・第二ふたば学童保育クラブ

東京都・葛飾区
 ふたばホーム：定員20世帯
 ふたば学童・第二ふたば学童保育クラブ：定員80名

ふたばホームは、お母さんと子どもたちがいつも笑顔で、安全で安心した生活を送ることができることを大切にしています。ふたば学童保育クラブ、第二ふたば学童保育クラブを併設しており、地域の子育て支援を担えるように努めています。

2019年度 TOPICS



念願の玄関雨除け屋根を設置しました！これで雨の日もお迎えの保護者様は安心です！！



地域貢献として「-ほめ上手パパ・ママのススメ-ペアレントトレーニング入門講座」の実施、関係機関の皆様をお招きして映画の上映会を開催しました。



子どもたちと一緒にたくさん壁画を作成して、季節感を味わいました！！



江戸川区そよ風松島荘

東京都・江戸川区 定員：20世帯

そよ風松島荘では、利用者に寄り添い「大切にされている」と思えるような関わりを大切にしています。ハード面では共同部分が多い等の不便さがありますが、少しでも快適に生活ができるよう工夫し、利用者の方1人ひとりに合わせたオーダーメイドの支援を心がけています。

2019年度 TOPICS

3年間の学業と猛勉強が実を結んだお母さんが、国家資格を取得することができました。



長年の願いであった、玄関電子錠の設置をしました。利用者の皆さんの安全と安心を守ることができるようになりました。



外出行事で芋ほりの体験をしました。土に触れ、自分達の手で収穫し調理をすることで、生きることの大切さを体感できました。



中野区さつき寮

東京都・中野区 定員：19世帯

さつき寮は、お母さんやお子さん、それぞれの想いに寄り添います。家族全員が地域の中で安心して笑顔で暮らせるようにスタッフ全員でお手伝いをします。お子さんの年齢等によって1DKまたは2DKのお部屋で生活できます。1年を通してお子さん、お母さんが楽しめる行事を企画しています。

2019年度 TOPICS

「ワンコインモーニング」で、みんなで朝食を食べました。ランチョンマットには、朝食の豆知識が書かれています。



3施設での合同キャンプに行きました。自然の中、職員も利用者も、ひと夏の仲間と思い出を作りました。



毎月実施している芸術教室で作った作品をエントランスに飾りました！





子どもからお年寄りまで、地域の皆様と共に生きる地域密着の運営を日々行っています。すべての利用者の方のケアニーズに応えられるよう、専門性と質の高いサービスを提供出来るように心がけております。



認可保育園（夜間保育所）「白鳥ふたば保育園」

東京都・葛飾区 定員：36名

白鳥ふたば保育園は、0歳児から5歳児まで36名の小さな保育園です。夜間保育も行っているため、夕食後まで安心して過ごせます。たくましくしなやかに成長していけるよう、1クラス6名の少人数で保育をしています。

■2019年度 TOPICS

園庭に畑を作り、ジャガイモやかぶを育て収穫しました。クッキングなども行い「食」への関心を高める取り組みをしてきました。

親子・卒園児・近隣の方とのつながりを持ちながら楽しい行事を取り組んできました。

町会の長寿会の方々と子どもたちとの交流会を毎月開催しています。



特別養護老人ホーム 「東四つ木ほほえみの里」

地域に根差した介護老人福祉施設として、特別養護老人ホーム119床、ショートステイ11床の合計130床。地域包括支援センターを葛飾区から運営受託しています。

■2019年度 TOPICS



看取り介護を希望する入所者ご家族が近年増加しているため、4月から主治医を24時間対応のクリニックへ変更しました。また、全職員が参画し、中期経営計画を策定しました。この計画の一つの項目「人材の確保・育成・定着」の具体的な取り組みとして

介護職員等特定処遇改善加算を活用し夜勤手当を増額することにより、女性介護職員が、産前・産後休暇、育児休業を取得後、本人希望により夜勤をしない働き方を選択しやすい職場環境を実現しました。

ここ数年の浴室全フロア改修により、感染症発生時でも各フロアでの寝台浴の利用が可能となりました。



学童保育クラブ

学童クラブ

葛飾：5学童クラブ合計260名／千代田：5学童クラブ合計272名
放課後子ども教室（1日平均）
葛飾：1学校10名／千代田：3学校合計241名

共生会が運営する学童保育クラブは、千代田区内・葛飾区内の学校に設けられています。子どもたちが放課後に安心して生活できる環境をつくり、一人ひとりと信頼関係を築きながら、成長していけるようにサポートしています。

■2019年度 TOPICS

子どもたちの誕生日に手作りメッセージカードとプレゼントを渡しています。

児童数120名の大きな学童クラブもあります。

みんなでゲーム大会や遊びをしています。



2019年度決算書類

法人単位資金収支計算書（抜粋版）
（自）平成31年4月1日（至）令和2年3月31日

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	事業活動収入計(1)	2,396,839,820	2,408,590,651	△11,750,831
	支出			
	事業活動支出計(2)	2,294,196,203	2,265,570,765	28,625,438
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	102,643,617	143,019,886	△40,376,269
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)	95,668,300	80,240,300	15,428,000
	支出			
	施設整備等支出計(5)	188,997,908	188,278,239	719,669
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△93,329,608	△108,037,939	14,708,331
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動収入計(7)	85,957,916	94,107,446	△8,149,530
	支出			
	その他の活動支出計(8)	121,742,097	136,937,954	△15,195,857
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△35,784,181	△42,830,508	7,046,327
	予備費支出(10)	7,869	—	7,869
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△26,478,041	△7,848,561	△18,629,480
	前期末支払資金残高(12)	623,560,997	623,560,997	0
	当期末支払資金残高(11)+(12)	597,082,956	615,712,436	△18,629,480

法人単位貸借対照表（抜粋版）
（自）平成31年4月1日（至）令和2年3月31日

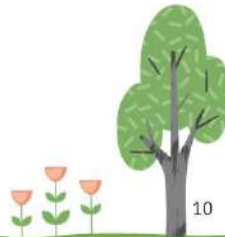
資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動資産	814,140,871	1,484,281,012	△670,140,141
現金預金	595,482,123	608,256,978	△12,774,855
前払費用	2,521,964	1,601,054	920,910
固定資産	3,158,287,068	3,058,949,582	99,337,486
基本財産	2,075,662,673	2,130,162,508	△54,499,835
その他の固定資産	1,082,624,395	928,787,074	153,837,321
資産の部合計	3,972,427,939	4,543,230,594	△570,802,655

負債の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動負債	259,223,243	922,329,113	△663,105,870
固定負債	80,077,156	79,014,492	1,062,664
負債の部合計	339,300,399	1,001,343,605	△662,043,206
純資産の部			
基本金	619,777,986	619,777,986	0
国庫補助金等特別積立金	1,079,220,939	1,079,294,541	△73,602
その他の積立金	463,536,854	452,344,531	11,192,323
次期繰越活動増減差額	1,470,591,761	1,390,469,931	80,121,830
純資産の部合計	3,633,127,540	3,541,886,989	91,240,551
負債及び純資産の部合計	3,972,427,939	4,543,230,594	△570,802,655

法人単位事業活動計算書（抜粋版）
（自）平成31年4月1日（至）令和2年3月31日

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	サービス活動収益計(1)	2,394,415,969	2,479,566,565	△85,150,596
	費用			
	サービス活動費用計(2)	2,310,616,891	2,389,260,717	△78,643,826
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	83,799,078	90,305,848	△6,506,770
サービス活動外増減の部	収益			
	サービス活動外収益計(4)	14,175,476	19,782,405	△5,606,929
	費用			
	サービス活動外費用計(5)	13,675,993	16,193,975	△2,517,982
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	499,483	3,588,430	△3,088,947
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	84,298,561	93,894,278	△9,595,717
特別増減の部	収益			
	特別収益計(8)	80,068,486	660,914,022	△580,845,536
	費用			
	特別費用計(9)	73,052,889	752,991,383	△679,938,494
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	7,015,597	△92,077,361	99,092,958
	税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	91,314,158	1,816,917	89,497,241
	法人税、住民税及び事業税(12)	5	0	5
	法人税等調整額(13)	0	0	0
	当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)	91,314,153	1,816,917	89,497,236
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(15)	1,390,469,931	1,414,380,502	△23,910,571
	当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	1,481,784,084	1,416,197,419	65,586,665
	基本金取崩額(17)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(18)	76,320,460	67,235,600	9,084,860
	その他の積立金積立額(19)	87,512,783	92,963,088	△5,450,305
	次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19)	1,470,591,761	1,390,469,931	80,121,830

本決算書類は「法人単位」のものであり、抜粋版です。
詳細は、各ウェブサイトをご覧ください。



SDGsへの取り組み

近年、国連の提示するSDGsが注目を浴びています。SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2030年までに達成すべき国際社会共通の目標です。

私たちも5つのゴールの課題解決の一助となるべく、社会福祉という分野の中で、皆さまとともにさまざまな社会課題を解決していきたいと考えています。

ゴール1：貧困をなくそう

ゴール3：すべての人に健康と福祉を

ゴール4：質の高い教育をみんなに

ゴール16：平和と公正をすべての人に

ゴール17：パートナーシップで目標を達成しよう



■■企業の皆さまへ■■

社会的擁護を必要とする母子や高齢者、子どもたちへのご支援は寄付だけに限らず、住居として使用している施設内設備のメンテナンスや、本やおもちゃなどの物品提供、子どもたちの体験型活動のご提供など多岐にわたります。皆さまの社会貢献ポリシーに応じて柔軟に対応しますので、お気軽にお問い合わせください。

ご支援の方法

寄付で応援

共生会では、広くご寄付のお願いをしています。共生会が運営する各施設で暮らす方々、また社会に巣立とうとする子どもたちを応援してください。お振込みやクレジットカード決済、また施設ごとへのご支援も受け付けておりますので、是非ご相談ください。



物品で応援

電化製品や家具・オフィス用品、車輛などの施設設備のほか、食品や子どもたちの遊具、医療消耗品など、さまざまな形のご協力を受け付けています。金銭以外のご支援方法について、是非ご相談ください。※ウェブサイト「欲しいものリスト」を公開しています。



遺贈寄付



大切な資産やその一部について遺贈寄付のご相談を受け付けています。遺贈寄付には公的な書類の作成などがありますので、専門機関をご紹介します。お気軽にご相談ください。

※当法人へのご寄付は、確定申告時に申告することで税の優遇を受けることができます。



寄付についてはこちらをご参照ください



社会福祉法人共生会

〒124-0014 東京都葛飾区東四つ木1-12-17

TEL：03-5671-1280 FAX：03-5671-1285

Mail：info@swc-kyouseikai.org ホームページ：https://www.kyousei-kai.com/

